

「港湾関連民間技術の確認審査・評価事業」

・2012年11月29日 更新技術(2007年5月25日 評価技術)

第 06006 号	
技術の名称	一体型複合遮水シート工法－管理型廃棄物埋立護岸遮水工－
依頼者	東洋建設株式会社、東亜建設工業株式会社、五洋建設株式会社、株式会社奥村組、太陽工業株式会社、錦城護謨株式会社、シーアイ化成株式会社、株式会社田中、ユニチカ株式会社
技術の概要	一体型複合遮水シート工法(管理型廃棄物埋立護岸遮水工)は、遮水シート工法でのより確実な遮水性能の確保のため、二重の遮水シート間に中間保護材として可とう性(地盤変形追随性)が大きく、かつ遮水性能の高い高分子材料(ポリウレタン)を注入し、三重構造とした一体型複合遮水シート(図-1、図-2 参照)による遮水工法で、海面最終処分場の護岸内側斜面等への遮水工として利用することを主旨に開発された技術である。これまでに実海域における実証実験により、性能などの確認がなされている。
評価の結果	一体型複合遮水シート工法(管理型廃棄物埋立護岸遮水工)は、海面最終処分場の護岸内側斜面等への遮水工として以下の4項目が確認された。 (1) 一体型複合遮水シート工法は、従来の二重遮水シートによる遮水工法に比べて海面処分場の容量が増える工法であることが確認された。 (2) 一体型複合遮水シート工法は、従来の二重遮水シート工法に比べ、二枚の遮水シートと中間保護層が一体化していることから、敷設が一回で済み、工程並びに工期の短縮が図れる工法であることが確認された。 (3) 一体型複合遮水シートは、変形追随性のある三重構造の遮水構造を有した材料であり、かつ遮水性、耐久性などに係る特性が、従来の二重遮水シートに比べて同等以上であることが確認された。 (4) 一体型複合遮水シートは、海上での接合が可能であり、かつ通常の施工方法で引き出し、敷設が可能であることが確認された。

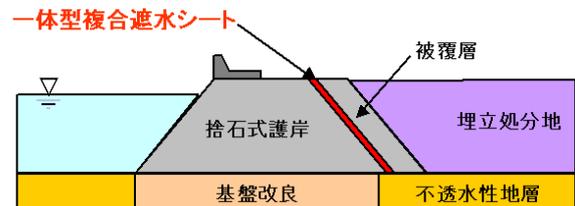
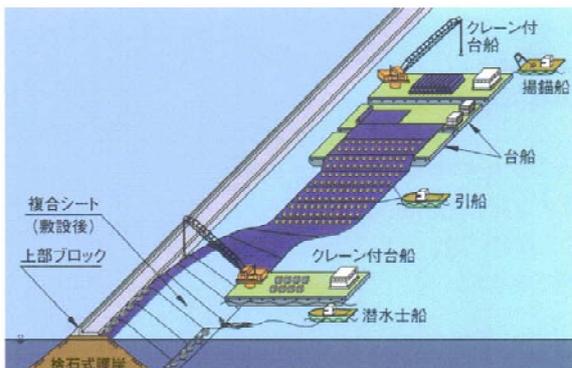
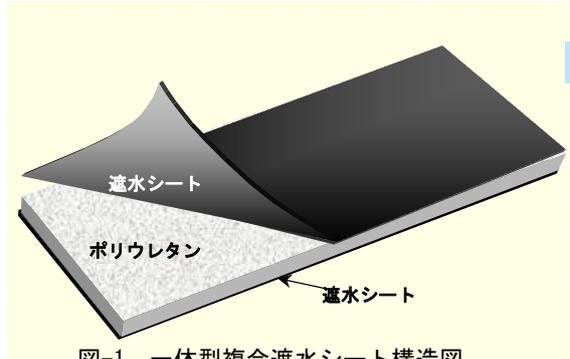


図-3 海面処分場での一体型複合遮水シートの敷設イメージ

図-4 一体型複合遮水シート工法を適用した遮水構造断面図